

駒木会報

第2号

発行日 平成14年7月31日
発行 江戸川大学駒木会
所在 千葉県流山市駒木474
電話番号 04-7152-0661

江戸川大学駒木会が正式発足

太田学長が本会顧問に就任

平成十四年四月一日づけで同窓会が正式発足いたしました。同窓生同士の交流や大学支援、地域への貢献を中心に、今後本格的な活動を行なう予定です。また正式発足に併せて、江戸川大学長太田次郎先生が顧問に就任しています。

本格的な活動に期待

一昨年の仮執行部発足から昨年の第二回総会開催を経て、江戸川大学駒木会が平成十四年四月一日づけで正式発足しました。会則は一昨年総会で公表された草案が採用され、仮執行部に役員として参加していたスタッフが同日づけで執行部役員（別表参照）に就任。会長には、これまで仮執行部で音頭をとってきた吉村氏が就任します。任期である

四年の間、吉村氏をはじめとした執行役員を中心に、駒木会が運営される予定です。

本会顧問に太田学長が就任

今後の同窓会は、会則にあるとおり、会員相互の親睦や地域及び母校の発展に寄与すること、を目的に活動計画を検討していきます（会則抜粋を参照）。活動内容については執行部内においても意見交換をしますが、会員の皆様のなかで、ぜひこんなことをやってほしい、といった要望があると思います。そういった方は、事務局あてに投稿をぜひお願いします。

江戸川大学駒木会執行部役員と顧問

役職	氏名	
会長	吉村 謙	第一期卒業生
副会長	内田厚士	第一期卒業生
	星野真吾	第二期卒業生
事務局長	江花栄二	第一期卒業生
理事	大西利典	第二期卒業生
	阿見宏一	第三期卒業生
顧問	太田次郎先生	江戸川大学長

江戸川大学駒木会活動の基本方針とおもな活動内容

(江戸川大学駒木会会則より抜粋)

- (目的) 第2条
本会は会員相互の親睦と文化的向上を図り、会員の教習を集めて、地域及び母校の発展に寄与することを目的とする。
- (事業) 第4条
本会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行なう。
- (1) 会員を対象とした各種会合、催事の企画立案ならびに運営。
 - (2) 会報、会員名簿及び各種資料等の発行並びに記念物品の頒布。
 - (3) 会員による地域の経済・文化及びスポーツ事業に対する協賛。
 - (4) 母校の教育活動への後援。
 - (5) その他、本会の目的達成に必要な事業。

江戸川大学駒木会収支報告書 (平成14年3月31日付)

平成12年度

	品目(備考)	金額
収入の部	12年度繰越	9,366,554円
	第5期生駒木会費	1,287,013円
	第7期生駒木会費	1,747,062円
	第8期生駒木会費	1,782,123円
	利息	6,046円
合計		14,188,798円
支出の部	同窓会員住所確認ハガキ発送	1,192,310円
	懇親会運営(軽食、花代など)	250,000円
	総会案内ハガキ発送	290,510円
	合計	1732820円
13年度への繰越		12,455,978円

平成13年度

	品目(備考)	金額
収入の部	13年度繰越	12,455,978円
	第6期生駒木会費(遅延分)	308,000円
	利息	2,508円
	合計	12,766,486円
支出の部	会報制作費	145,215円
	会費送付	550,261円
	懇親会運営(軽食など)	250,000円
	総会案内ハガキ発送	247,184円
	合計	1,192,660円
14年度への繰越		12,455,978円

第二回駒木会総会を開催

平成十三年十一月三日、江戸川大学メモリアルホールにて第二回駒木会総会が開かれました。残念ながら前回より出席者数は減ってしまったものの、そのぶんアットホームな雰囲気でも総会は進行しました。

同窓生交流の場を目ざして

第二回同窓会総会も前回同様、江戸川大学メモリアルホールにて開催。これまでの活動報告と収支報告、質疑応答を中心に進められました。

活動報告では会報の発行や本総会の開催、また総会後に開かれる懇親会の立案、運営などが紹介されました。

収支報告では各年度の卒業生が納めた会費による収入、また昨年行なわれた総会にかかった費用などが報告されました。

会長の吉村氏からは今後の活動計画として、年一回の会報発行や総会の開催に加え、スタッフの増強、在学生の就職支援といった案を発表。

これらの計画が実現できるよう、同窓会会員にも協力を呼びかけています。

質疑応答では会費納入に関して意見が交換されました。前回の会報では会費納入対象者、免除対象者がわかりにくかったとのこと。今回はそ

懇親会も開催

総会の開催に合わせて、大学構内食堂で懇親会も行なわれました。学生部長久保保二郎先生による挨拶の後、一時間ほどの歓談を楽しみました。

旧友や恩師との語らいのほか、同伴したご家族やお子様を紹介するなどして、旧交を温める姿がそこかしこに見られました。

今後も総会とセットで懇親会を開催するようにし、大学との交流を持続させていきたいと思えます。

卒業生にとって学園祭と同窓会は、後輩やお世話になった先生方と会える数少ないチャンスといえます。サークルなどに顔を出すついででもかまわないので、これまで総会に出席できなかった方々は、次の機会にぜひご参加ください。

友人にも総会出席の声をかけよう

江戸川大学長/駒木会顧問 太田次郎

今回の総会は前回に比べ人の集まりが悪いせいか、スタッフの皆様が恐縮していました。しかし同窓会総会というのは元来こういうもので、その後開かれる懇親会で多く集まってくれば問題はないので気にしないでほしい。私も自分が在学していた小中高大の各同窓会に出席したことがありますが、そのなかでは大学が一番集まりが悪かった。卒業後仕事の都合で全国に散ってしまつたため、やむをえないかもしれない。そういう意味では、今回出席してくれた人たちは非常に熱心だと思ふ。

同窓会で大切なのは、活動を継続してこうしたイベントに出席すること。今回来なかった友人には、来年は来るようにぜひ誘ってほしい。理屈抜きに旧友と会って和気あいあいとするのが、同窓会一番の意義。将来も盛んになることを期待しています。

人生に夢を、自分の行動に責任を持つ

江戸川大学社会学部長 市川 昌

卒業生の皆さんの輝かしい未来を心から祝福します。そしてつらいことと悲しいことあっても決してくじけず、人生に夢を持って生活を築かれることを願っています。よくいわれる言葉ですが「明けぬ夜はない。闇の暗さも必ず朝日がさす」のです。駒木キャンパスで培った友情、学習、スポーツなどの成果をときどき思い出して、それぞれの職場で毎日がんばってほしいと思います。

私は二九歳から三〇歳まで、最近テロ対策で注目を集めたパキスタン情報省のラホール放送局とバンガラディッシュのタッカ放送局で、日本の放送番組専門家として現地放送局員の指導にあたりました。西南アジアはいまでも生活は簡素で貧困ですが、文化的にはイスラムの訓えを守り、独特の芸術、詩歌、民芸を伝承してきました。そこで一番忘れられ

ないのは、街頭テレビから流れるアジア最初のノーベル文学賞に輝いた詩聖タゴールの詩朗読の番組をジッと聴く民衆の姿でした。日本経済が多少沈滞化しているとしても、アジア諸国ではこれほど豊かで資源を浪費している国民はありません。貧しさを嘆くとすれば、日本人のこのころの貧しさ、未来に夢を失いつつある精神の奴隷化を嘆くべきです。

駒木会正式発足によせて

江戸川大学駒木会長 吉村 謙

運営準備期間を経て平成十二年十一月三日に初めて校友会総会を開催して以降、一年半の間仮執行部として活動をして参りましたが、平成十四年四月一日をもって江戸川大学校友会・駒木会を正式発足する運びとなりました。これも皆様のご協力があればこそ感じています。ご協力大変ありがとうございます。会員数は平成十二年度までで二六九七名を数え、十三年度新たに卒業した三九七名を加え、計三〇九四名になりました。組織としてはかなり大きくなりましたが、まだ活動実績が少ないのが現状です。任期である四年の間に課題をひとつひとつこなしていき、より多くの活動報告ができるようになればと考えております。

ひとまずは現在執行部に参加している五名の役員で本格的に活動を開始いたしますが、役員一同自分の仕事をしながらの運営となるので、至らない部分も多々見られると思います。会員の皆様のなかで、役員またはスタッフとして運営に参加していただける方がいれば、ぜひご連絡ください。会員の皆様の暖かいご支援や励まし、叱咤激励を受け、本会をより活発な組織として成長させていく所存です。

今年も十一月三日に総会を開催します。期を問わず卒業生が集まる数少ない機会ですので、お誘い合わせのうえぜひご来場ください。お待ちしております。

大学近況

一部学科名が変更

現在江戸川大学には四つの学科がありますが、そのうち環境情報学科が平成十四年四月一日より「環境デザイン学科」へ名称変更されました。人を取り囲む環境問題の研究はもちろんで、自然や都市機能、継続性を考慮した政策や活動を行なうため、どのような観点が必要かといった提言も行なっています。世界レベルでの環境保護や意識統一が必要になる昨今、もともと注目される学科といえるでしょう。

学部長に市川昌先生が就任

これまで最前線に立って江戸川大学を牽引してきた堀江固功先生に代わり、市川昌先生が新しく江戸川大学社会学部学部長に就任されました。学部運営と自身の研究などで何かと急がしくなると思われませんが、江戸川大学の今後の展開に大いに期待したいところです。

江戸川短期大学が男子学生受け入れへ

江戸川女子短期大学は、平成十三

江戸川学園評議会評議員に吉村氏が就任

江戸川学園の諮問機関である江戸川学園評議会の評議員として、本学会長である吉村氏が就任しました。これまで江戸川短期大学、江戸川大学総合福祉専門学校の卒業生が評議員に就任していましたが、江戸川大学卒業生からは選出されていませんでした。今回の駒木会正式発足を機に、公に江戸川大学卒業生を代表する人物となつたため、就任申し入れを評議会が

年度より男子受け入れを開始。名称も「江戸川短期大学」と変更され、十三年度入学者では全体の二割程度が男子学生となっております。大学のサークルに短大生が参加したり、逆に短大のクラブに大学生が参加するといったケースも増えているようです。いつか、大学と短大共通で同窓会を開く日が来るかもしれません。

元プロ野球選手がマス・コミュニケーション学助教授に
東京大学出身のプロ野球選手として注目を集めた小林至氏が、今年度よりマス・コミュニケーション学部の助教授として江戸川大学に赴任しました。小林氏はプロ野球引退後、アメリカのゴンビニア大学経営大学院でMBA（経営学修士号）を取得。以降評論の執筆やスポーツ関連のコメントライター、参議院選挙への出馬など精力的な活動を行なっています。江戸川大学では経営学、経営統計学などを担当しています。

江戸川大学入試情報

江戸川大学では、主に面談によって受験生のやる気を測るAO入試をはじめ、推薦入試、一般入試、センター入試、ユニーク入試、私費外国人留学生試験、短大からの三年次編入学入試など、さまざまな入試方式を用意しています。

AO入試は、受験生と大学教員が面談を行ない、入学前から大学の講義に出席したり、課題を提出するなど大学に対する取り組みを見て可否を判定します。

昨年度では、AO入試志願者数が一般入試について多くなっています。筆記テストがないぶん、本人のやる気や継続的な努力が求められます。6～10月の間に定期的に説明会が開かれていますので、親戚や友人に受験を控えているご息がいたら、紹介してはいかがでしょうか。

ユニーク入試は面接と出願書類のみで可否を判定するシビアな方式。募集人員も少ないですが、高校での活動実績に自信があればこちらで挑戦してみてもいいでしょう。

センター試験利用入試のひとつ「一科目受験方式①」では地方試験会場を用意。やむをえない事情で実家を離れられない人や、入試遠征で地方に行っている人に朗報です。より詳しい情報を知りたい場合は大学入試課へお問い合わせください。

■お問い合わせ先
江戸川大学入試課 フリーダイヤル0120-440-661

駒木会活動報告

受け入れたものです。評議会が開催された折には、江戸川学園全体の運営について意見が交換される予定です。

吉村氏卒業式に出席

去る三月十六日に行なわれた江戸川大学第九回卒業式に、吉村氏が同窓会代表として出席しました。残念ながら挨拶などはしませんでした。卒業生に本会をアピールできたものと思います。今後学校行事に積極的に参加し、本会の存在を広めてほしいところです。

月一回のスタッフミーティングを継続

総会開催後、駒木会執行部では月一回をめぐりに大学構内においてミーティングを行なっています。これまで、総会についての反省会や会報の内容に関する打ち合わせを行なってきました。現在は、この秋に行なわれる第三回総会の運営について検討を重ねているところです。当日の成果をどうぞお楽しみに。

会費納入のお願い

今回お送りした封筒に、会費納入用の郵便振り込み用紙を同封させていただきました。ここに納入会費や振り込み人氏名、学籍番号、住所等を記入し、お近くの郵便局よりお振り込みください。

永年会費：三万円
五カ年会費：五万円
寄付金：五千元（一口）

振込用紙の通信欄には、在籍時の学籍番号と現在のお名前、振込み金額の内訳をご記入ください。学籍番号については、今回お送り

した封筒のあて名欄をご確認できます。

会費とは別に、一口五千元での寄付も受け付けております。もしよろしければ、今回の会費納入の際に合わせてお振り込みください。なお、勝手ながら納入についての期限を平成十五年三月三十一日（月）と定めさせていただきます。期日までに納入された方のお名前は、次号会報にてご紹介させていただきます。ご協力をぜひお願いいたします。

※今後の駒木会運営に必要な資金となります。会費納入は任意ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

※第六期（平成十一年三月）以降に卒業し、卒業時に会費を納入した方は今回納入の必要はありません。

※すでに振込用紙で会費を納入いただいた方は、今回納入の必要はありません。

会費を納入していただいた皆様

(2002年3月30日現在/順不同、敬称略)

◆永年会費（今後会費納入の必要はありません）

戸村尚弘(学籍番号：9070091)/武田直輝(9060089)/大木紀史(9170037)/江花賢一(9060024)/西氏恵介/浅野宗徳(9170004)/小林 淳(9170073)/佐谷 剛(9711064)/大西利典(9170043)/中島和子(9360130)/吉村 謙(9070144)/金子博之(9160056)/岡村一弘(9060032)/江花栄二(9060023)

◆5カ年会費（規定年数経過後同額の会費納入をご検討ください）

阿部 健(9260005)/永塚聡教(9370143)/大矢良行(9260038)/麻生香奈恵(9470003)/外丸清高(9560107)/本間達哉(9160169)/佐藤民子(9160091)/小山啓史(9560063)/遠山愛治(9460117)/松尾奈帆子(9560143)/中村 誠(9260139)/中村達也(9370138)/久下沼誠央(9460059)/和田裕行(9060134)/井出 敦(9260019)/増田三枝(9270045)/國松孝行(9260063)/辻典史郎(9160123)/森田孝志(9170187)/友野義久(9070092)/松永吉史(9260170)/東間由枝(9370127)/石田香織(9370014)/木全淑乃(9060050)/植田尚宏(9360020)/山川敏弘(9070132)/石井理恵(9070010)/亀田圭子(9070040)

※2002年3月30日以降に納入していただいた方のお名前は、次年度会報にてご紹介させていただきます。

今年度総会開催のお知らせ

現在執行部では、第三回駒木会総会の開催に向けて準備を進めています。平成十四年十一月三日（日）、江戸川大学構内で行なう予定です。これまで好評だった懇親会も引き続き行ないたいと思います。開催日時、場所が確定次第案内はがきを送付いたしますので、友人やご家族をお誘い合わせの上ぜひご参加ください。



Webページ
ウェブ同窓会「この指とまれ！」
(愛称：ゆびとま)
URL：http://www.yubitoma.or.jp/

続々増える登録者とメッセージを交換しよう
卒業学校単位で登録ユーザーを参照できるWebページ「ウェブ同窓会」の指とまれ！。少しづつではありますが、江戸川大学のページに登録される卒業生の方が増えています。江戸川大学以外に中高のページにも登録して、旧友を探してみるのもおもしろそうです。（注：紹介Webページは駒木会の運営ではありませんのでご注意ください。）

会報に掲載する原稿の受付、駒木会執行部運営に参加してくれる方を募集しています

駒木会では会報に掲載する原稿の投稿を受け付けております。駒木会運営に関するご提案やご意見、母校への提言や後輩へのエールなど、大学に関することなら内容は自由です。こちらで内容を確認次第、折り返し掲載のご連絡します。よりよい会報作りにご協力をお願いいたします。

また本会運営に役員、スタッフとして参加してくれる方を募集しています。興味のある方は、江戸川大学事務局内江花までお電話ください。今後の活動スケジュールなどについてご説明いたします。

■駒木会事務局所在

千葉県流山市駒木474 江戸川大学事務局気付
TEL：04-7152-0661（江戸川大学代表）
FAX：04-7153-4596（江戸川大学入試課）
（お電話は江花あてにお願いいたします）

■投稿送付先

〒270-0198
千葉県流山市駒木474 江戸川大学事務局気付 駒木会事務局 江花栄二あて
会報記事投稿のタイトルでお送りください。

■江戸川大学WebページURL：http://www.edogawa-u.ac.jp